

一般国道4号「盛岡北道路」開通

4車線化により、茨島こ線橋～分れ南交差点間の渋滞緩和に寄与

道路建設課

平成28年3月26日(土)、国、県、盛岡市、滝沢市の共催による一般国道4号「盛岡北道路」開通式が滝沢市滝沢ふれあい交流館にて開催されました。

式典では、主催者あいさつに続き、来賓の国会議員の方々からお祝いの言葉をいただきました。

前の南巣子自治会長の澁谷文人様からは、「地域の声」として、「1日3万台の交通があり、分れ南交差点から抜け道として、私たちの住む駅前、巣子、長根地区の生活道路が使用されてきた。小中学校、高校、大学の通学路にもなっており、危険な状態であった。開通は地域の長年の悲願であり、皆が喜び安心して、渋滞の緩和や安全安心な地域になると期待している。」とのメッセージをいただきました。



澁谷 前南巣子自治会長

その後、来賓の方々のほか、地元小学校の皆さんも加わり、開通のテープカットとくす玉開きが行われ、盛岡北道路の現地での4車線開通の状況が生中継されました。

会場では、事業概要や整備効果を紹介するパネルが展示され、事業の理解を深めたほか、式典開始前に滝沢山車まつり実行委員会の皆さまによる音頭上げが披露され、式典を盛り上げていただきました。



テープカットとくす玉開き



式典会場での開通状況の生中継



パネル展示



滝沢山車まつり音頭上げ

一般国道4号盛岡市厨川の茨島こ線橋から滝沢市巢子の分れ南交差点間は、2車線区間のボトルネックとなっていたため、慢性的な交通混雑や事故が多発しており、平成19年度に国土交通省により当該区間の4車線化が事業化されました。

本事業では、**事業化前の構想段階から地域住民の方々の意見を取り入れる「パブリック・インボルブメント」が全国に先駆けて実施され、現存する松並木や岩手山の眺望、周辺の動植物など、景観や自然環境に配慮したみちづくり**を目指して整備が進められました。

開通により、渋滞の緩和、**定時性の向上、緊急時・災害時の信頼性の確保**などの直接的な効果のほか、**産業振興や観光振興**などの様々なストック効果が期待されます。



上下線分離区間 下り線（開通後）



拡幅区間 巢子市街地（開通後）

▼ 盛岡北道路の概要

- 計画延長 3.6 km
- 計画幅員 上下線分離区間 12.5m×2 【上り線下り線各2車線】
拡幅区間 28.5m 【4車線】
- 全体事業費 約 54 億円
- 事業者 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
- 主な事業経緯
 - ・平成9年度～平成12年度 構想段階 PI（パブリック・インボルブメント）
 - 国道4号盛岡・滝沢道路懇話会（H10.3～H13.3 計8回）
 - 巢子地域まちづくり協議会（H11.11～H13.3 計6回）
 - 地域住民や道路利用者へのアンケート調査実施（H10.9）
 - ・平成19年度 事業化
 - ・平成20年度 都市計画決定（変更）
 - ・平成28年3月26日 4車線化開通

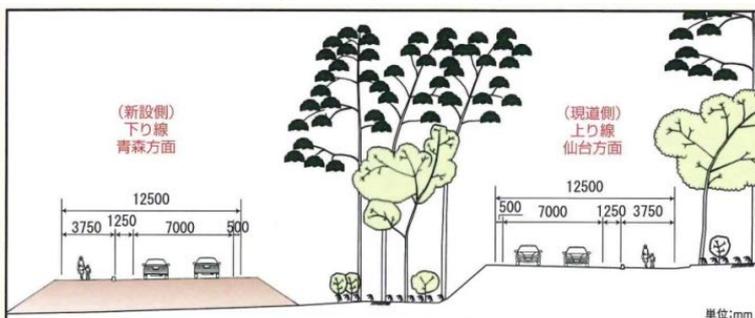


【位置図】



【標準横断面図】

上下線分離区間（松並木区間）



拡幅区間（巢子市街地）

